

国語科 小学校 6年

単元名 読書の世界を深めよう
「森へ/本は友達」
光村図書「国語六上」(旧版)

単元の流れ (全15時間)

第1次 文章全体を概観する【第1時～第3時】

主な学習内容

- ◇第1時 全文を通読(黙読)し、まとまりごとに場面に分ける。
- ◇第2時 筆者が見たことや感じたことなどを想像しながら読み、場面ごとにおおよその内容を書きまとめる。

「活用」の力育成のために

読むことについてこれまでに身に付けてきた方法を使って自力で読む時間を十分設定することが大切である。

第2次 筆者の心情や場面の描写をとらえて読み、自分の考えをまとめる。【第3時～第9時】

主な学習内容

- ◇第3時～第7時(本時第7時) 場面ごとに、筆者の心情や場面の様子などについての描写をとらえ、感じたことや優れている点などを話し合う。
- ◇第8時 テーマを選んで、「森へ」を読んで考えたことを書く。
- ◇第9時 同じテーマを選んだ者どうしてグループを作り、話し合っ互いの考えを深めあう。

第3次【第10時～第15時】

主な学習内容

- ◇第10時 「いろいろな本を読もう」を読み、読んでみたい本について話し合っ読書計画を立てる。
- ◇第11時 各自で選んだ本を読む。(家庭学習を含む)
- ◇第12・13時 読んだ本を紹介する方法を考え、グループで発表の準備をする。
- ◇第14時 学級で読書発表会(ブックトーク)を行い、読んでみたい本などをメモする。
- ◇第15時 読書発表会をもとに、夏休みや2学期以降の読書計画を作成し、めあてや計画について交流する。

「活用」の力育成のために

自ら本を選ぶ、読んだ本を紹介するなどの活動を通して、読書への意欲を高め、読書習慣を身に付けさせる。

単元目標

- 筆者の心情や場面についての描写をとらえて文章を読み、自分の考えをまとめる。
- 本を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり、深めたりする。

単元構成の意図

本教材は、写真家である筆者が、アラスカの自然の中で感じたり考えたりしたことを、写真と文章で構成した作品である。

擬人化や比喻表現、問いかけ等の表現があり、筆者の目や心の動きが読者にそのまま伝わり、非日常の森の世界へ引き込まれていく。そこで、五感を生かした読みを意識させ、優れた表現について自分なりの感想や考えをもてるようにする。

また、本を読んで考えたことを話し合う体験をもとに、読書への意欲を高め、実際に読書計画を立てさせることで、主体的な読書活動につないでいく。

「活用」の力を育てるポイント

- ① 高学年では、おおよその内容や文章の特徴をとらえる力を身に付けられるよう、児童が自力で全文を通読(黙読)する学習活動を重視する。
- ② 自分の考えたことを叙述や表現を根拠にして短い文章に書きまとめる学習活動を設定することで、書く力の基礎を確かなものにする。
- ③ 擬人法や比喻、問いかけ等の表現に着目させ、すぐれた叙述がどのような効果を生んでいるのか考えさせることで、自分の表現に活用できるようにする。

評価問題

CLICK

HOME

本時の流れへ